

資材価格の上昇

生コン 値上げ表明広がる

各地の協組 原料高などで4~17%

生コンクリートの価格 (東京地区、標準用100キロ強度)
1.3-万円/立方メートル

交渉は長期化の可能性

生コンクリート会社で構成する協組組合の値上げ表明が各地に広がっている。東京、東北、九州などで4~17%の引き上げを計画。原料である砂利や砂などの価格やセメントの値上がりも影響を及ぼしている。関東東生コン協組組合は、協組組合の協組組合が原料高を理由に値上げを表明したが、協組組合のセメント(協組組合)は値上げを拒否しており交渉が長期化している。

生コン販売の流れ

```

    graph TD
      A[セメント会社] --> B[生コン協組組合]
      C[セメント] --> B
      B --> D[生コン会社]
      D --> E[生コン]
      E --> F[販売店]
      F --> G[生コン]
      G --> H[ゼネコン]
    
```

コンクリ製品、値上げ

ヒューム管やALC相次ぐ

セメント需要は堅調に推移
1.1-万円/トン

原料高で1割前後

ヒューム管の製造企業 5~17%値上げする。値上げは2年ぶり。標準品価格(東京)は1トンあたり約7万9000円(7月)から全額引き上げ。価格は1トンあたり約7万9000円(7月)から全額引き上げ。価格は1トンあたり約7万9000円(7月)から全額引き上げ。

セメント需要は堅調に推移

セメントを原料とするコンクリート製品で値上げ表明が相次いでいる。下水管に使うヒューム管は1割前後、建築物の外壁となるALC(軽量気泡コンクリート)は1割強の値上げをメーカーが打ち出す。東北の復興需要などを背景に主原料のセメントや鋼材の値上げが広がっている。製造工程で使う重油が高値となっているためだ。

生コン

東日本で値上げ広がる

全国の生コン出荷量
前年度比増減率

復興需要で原料上昇

生コンクリートの値上げ表明が東日本で広がっている。東京都の2つの生コン協組組合が4%の値上げを打ち出しているほか、札幌市の生コン協組も10月から14%の値上げを表明。東北地方の復興需要で砂や砂利といっ

た生コン原料(骨材)の仕入れ価格が上がり、被災地以外でも出荷価格への転嫁が波及している。東関東生コン協組組合(東京・足立)は7月受注分から1立方メートルあたり500円(4%)値上げする。値上げ後の価格は1万2800円となる見通し。三多摩生コンクリート協同組合(東京都立川市)も10月受注分から同500円(4%)値上

アルミ価格、内外で上昇

ファンドなどの資金流入

アルミニウムの地金価格が内外で上昇基調を強めている。国際相場となるロンドン金属取引所(LME)の3カ月先物価格は前週末時点で1トンあたり2168ドルと昨年9月以来的の高値をつけ、1月下旬の安値から130%近く上昇した。世界全体の回復期待からアルミ地金の国内価格も上昇している。現在の価格は、為替の円安で国際相場が内外で上昇した。

輸入構造用合板7%高

前月比即価格 1年8ヵ月ぶり高値

輸入構造用合板の国内卸価格 (東京地区、12ミリ、厚物)

現地の供給減や労務費上昇

現場での供給減や労務費上昇が背景にある。輸入構造用合板は1年8ヵ月ぶり高値を記録した。前月比で7%高値を記録した。前月比で7%高値を記録した。前月比で7%高値を記録した。

設計労務単価の上昇

公共工事設計労務単価（千葉県）

	平成24年度	平成25年4月	上昇率
特殊作業員	16,300	19,200	17.8%
普通作業員	13,400	16,400	22.4%
軽作業員	10,300	12,200	18.4%
造園工	15,700	18,700	19.1%
とび工	18,700	22,200	18.7%
石工	19,400	23,100	19.1%
ブロック工	18,800	21,500	14.4%
電工	18,300	20,600	12.6%
鉄筋工	19,000	22,500	18.4%
鉄骨工	16,900	20,100	18.9%
塗装工	18,200	21,600	18.7%
溶接工	19,300	22,900	18.7%
型わく工	17,000	20,200	18.8%
大工	19,300	22,900	18.7%
左官	17,800	22,000	23.6%
配管工	17,100	19,300	12.9%
はつり工	16,800	20,700	23.2%
防水工	18,800	23,200	23.4%
板金工	18,200	22,400	23.1%
タイル工	18,300	21,700	18.6%
サッシ工	16,900	20,600	21.9%
内装工	17,500	21,300	21.7%
ガラス工	16,600	19,800	19.3%
建具工	18,700	22,200	18.7%
ダクト工	15,800	18,500	17.1%
保温工	16,500	18,500	12.1%
設備機械工	17,000	20,000	17.6%
交通誘導員	9,200	10,800	17.4%

平均値	18.8%
-----	-------

国土交通省 土地・建設産業局 平成25年度公共工事設計労務単価について（抜粋）
 ※建築関連工種の労務単価を抜粋したものです。